

# WAVE TIMES | VOL.17

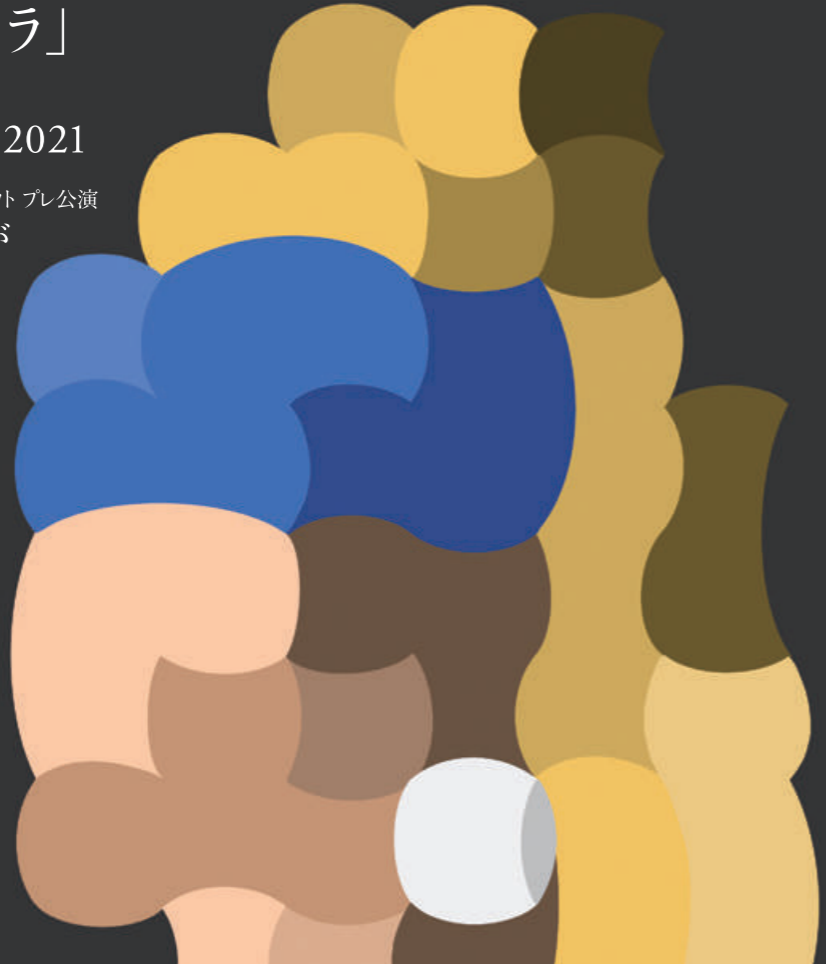
札幌市民交流プラザ情報誌

特集 | 鑑賞レビュー

熊川哲也 Kバレエカンパニー  
「シンデレラ」

PLAZA  
FESTIVAL 2021

hitaru バレエプロジェクト プレ公演  
「白鳥の湖」が  
できるまで  
The making of Swan Lake



アーティストボイス

木彫家

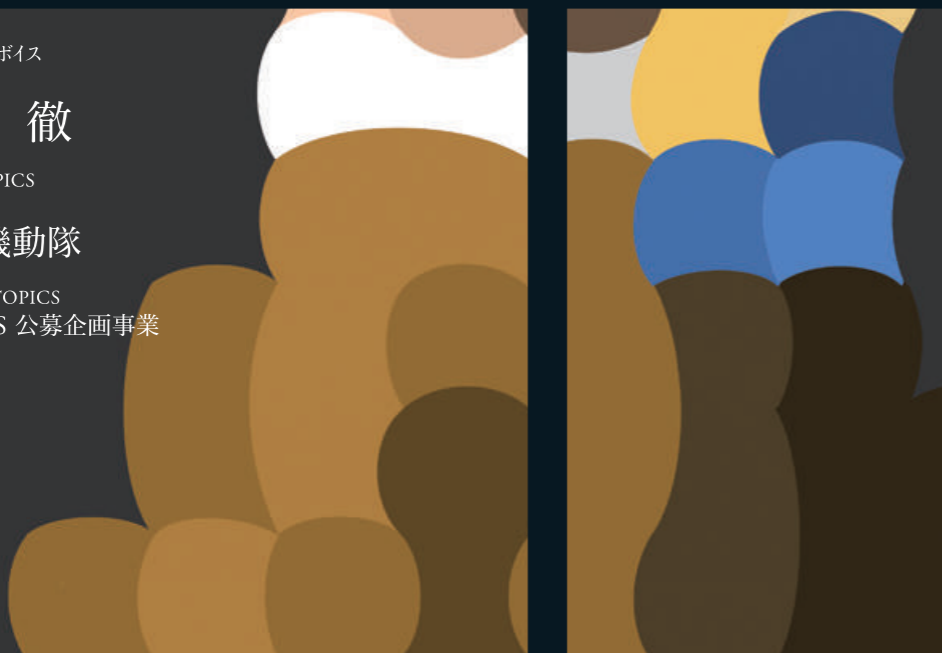
貝澤 徹

hitaru TOPICS

VR能  
攻殻機動隊

SCARTS TOPICS

SCARTS 公募企画事業

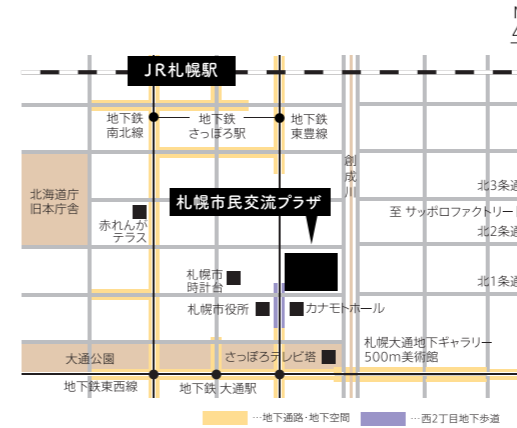


cover art : Baku Maeda / Pucker & Bloat [Vermeer/ Het meisje met de parel]



## 札幌市民交流プラザ

SAPPORO COMMUNITY PLAZA



### 地下鉄「大通」駅直結

札幌市中央区北1条西1丁目 さっぽろ創世スクエア

## WAVE TIMES

「WAVE TIMES (ウェーブタイムズ)」は、「札幌市民交流プラザ」のトピックスや公演・イベント情報などを発信している冊子です。

札幌市民交流プラザ情報誌 vol.17 発行 2021年11月20日

発行元

公益財団法人 札幌市芸術文化財団 札幌市民交流プラザ

〒060-0001

札幌市中央区北1条西1丁目

TEL:011-271-1000 (9:00-22:00 ※休館日を除く)

◎本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます



札幌市民交流プラザ



<https://sapporo-community-plaza.jp>



※イベント内容は11月8日時点のものです。やむを得ない事情により、開催期間、開演時間、出演者、曲目などが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー



あいプラン、MORIHICO、アミノアップ、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌都市開発公社、サッポロホールディングス、ANAクラウンプラザホテル札幌、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大和証券、日本航空、福山倉庫、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道テレビ放送、丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、Life&Ceremony、北海道ガス、會澤高圧コンクリート、旭イノバックス、SOC、遠藤興産、三精テクノロジー、大成建設、大丸札幌店、トーヨーエンジニアリング、日建設計、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、ホクリヨウ、北海道銀行、朝日新聞社、アムテック、アルシス、若本・佐藤法律事務所、ウエス、エイト設計、片桐企業グループ、TAT札幌、弁護士法人北空、KDDIエボルバ、さくら総合会計、札幌商工会議所、札幌スバインクリニック、札幌デンタルケア、さっぽろ内科・リウマチ膠原病クリニック、ジャパンテクニカルソフトウェア、庄内こどもの歯科、蘇春堂形成外科、タイムズ24、みよしの、さっぽろ東急百貨店、内科丹田クリニック、博愛会、福住泌尿器科クリニック、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントアライブ、みたに胃腸内科、南一条脳内科、明治安田生命、元町皮ふ科、山二、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道

日高の演じるシンデレラには、独特の存在感があった。第1幕は、冒頭から意地悪な義姉と継母に家事を押し付けられ、一方的にいじめられるが、それに負けない芯の強さが感じ取れるヒロイン像だった。

第2幕、宮殿で出会った瞬間に王子をとりこにするには、魔法によるきらびやかなドレスだけでは、女性としての魅力が必要。長身で、しなやかな腕から指先までの長さを存分に生かした踊りには、他者をひきつける個性と華があった。

王子を演じた高橋は安定感があり、リフトからリフトへのつなぎもスムーズだった。2人で踊るパ・ド・ドゥでも前に出過ぎず、日高のシンデレラ像のサポートに徹している印象を受けた。そして1日目のカーテンコール後の舞台上では、高橋のプリンシパルへの昇格が発表され、彼に対する期待の高さが伺えた。



©Hidemi Seto

Daiwa House® PRESENTS

熊川哲也 Kバレエカンパニー  
Autumn Tour 2021

# シンデレラ

鑑賞レビュー

今年3回目を迎えたPLAZA FESTIVALが2021年10月1日から3日にかけて、札幌市民交流プラザの各施設で開催された。多彩なイベントのメインを飾ったのは、Kバレエカンパニーによる全3幕のクラシックバレエ「シンデレラ」。札幌文化芸術劇場 hitaru(ヒタル)で、10月2・3日にWキャストで上演された。



©Hidemi Seto

2日目にヒロインを演じた成田に驚かされたのは、圧巻の脚線美。単に容姿という意味ではない。パからパへの運び、高さを保ったポーキング、動きに無駄のないピルエット。終始、脚から目が

2組のシンデレラと王子が  
それぞれの個性で観客を魅了

離せなかった。シンデレラが舞踏会で履く「ガラスの靴」は、輝くスパンコールで装飾されたトゥ・シューズで、成田の踊りにとっても効果的に映った。ファンタジックでピュアな印象を受けるヒロイン。王子役の栗山とともに、夢の世界を体現して見せてくれた。

また、前日シンデレラを踊った日高が、この日は魔法使いの仙女役を演じた。前日から一転して、深い慈愛に満ちた表情で二人を見守る役づくりを見せ、ダンサーとしての力量が強く印象に残った。そして2日目の王子を演じた栗山も、1日目は「4人の王子の友人」の一人として2幕のステージに出演しており、また違った魅力を見せていた。



©Izumi Sakurai

品格のある舞台美術で美しく貫かれた  
唯一無二の世界観

Kバレエカンパニーが、8年ぶりに札幌に帰ってきた。札幌文化芸術劇場 hitaruの開館から3年。公演を、心待ちにしていたファンも多かったに違いない。演目は、北海道では初上演となるKバレエカンパニー「シンデレラ」。誰もが知っているストーリーが、誰も観たことのない世界観で、いきいきと美しく表現された。

開演前の舞台上に降りた幕には時計と振り子が描かれ、第2幕ではそれが立体的なセットとなつて登場。細部まで計算し尽された美術デザインが、背骨のごとくその世界観を支えていた。

公演当日、会場内の照明が落ちる直前に、劇場内がどよめいた。中央の通路に、Kバレエの芸術監督で北海道出身の熊川哲也氏が姿を現したのだ。後方に向かって手を振るサプライズに、客席は沸いた。シンデレラと王子を演じたのは、1日目が日高世菜と高橋裕哉、2日目が成田紗弥と栗山廉。2組ともそれぞれの個性が光る、見応えのある公演となった。



©Hidemi Seto



REPORT!

# PLAZA FESTIVAL 2021

PLAZA FESTIVAL 期間中は、札幌市民交流プラザの各スペースを会場にさまざまな催しが行われました。文化芸術との触れ合いの場となった、秋の祭典の様様をレポートします。

## 札幌爆音映画祭2021 2021.10.1FRI-3SUN/クリエイティブスタジオ



映像制作集団「空族(くぞく)」の富田克也監督(左)と樋口泰人プロデューサー(右)

3年連続の開催となった「札幌爆音映画祭」は、音楽ライブ用の音響機材を用いた大胆かつ繊細な大音響で、これまでにない映画体験を提供する人気の上映イベントです。

今年は10月1日から3日までの3日間に期間を拡大。爆音上映プロデューサーの樋口泰人氏が、会場となるクリエイティブスタジオに合わせて、1作品ごとに音響設定を施しました。

今回上映されたのは、異色のSF感動作『メッセージ』、ミュージカル映画の大作『レ・ミゼラブル』、現代中国の新奇性に満ちた傑作サスペンス『鷺島湖の夜』、爆音上映用に音響を再設計した『カネコアヤノ Zeppワンマンショー 2021』、そして東日本大震災後の日本の姿を問う『典座-TENZO-』の5作品。10月3日の『典座-TENZO-』の上映後には、富田克也監督が登場し、制作の舞台裏などについてのメイキングトークを披露しました。

## 遠い誰か、ことのありか

2021.10.1FRI-10SUN  
SCARTSコート、SCARTSスタジオ

クワクポリョウタ、やんツー、大橋鉄郎、岡碧幸の4人のアーティストによる展覧会「遠い誰か、ことのありか」が、SCARTSコートとSCARTSスタジオで開催されました。

大きな鋼材や可動壁を動かして小さな行為を達成するやんツーのインスタレーションをはじめ、それぞれの切り口からリモート時代のテクノロジーの意義を問い、情報や自然、他者との関係性を模索する新作を発表。触覚デバイスやAIを駆使したクワクポリョウタの2作品は押しやり、触ったりできるもので、来場者は実際に触れながら作品を体感していました。また10月3日にはギャラリートークも行われました。



## ++A&T 05 クワクポリョウタ × SCARTS × 札幌の中高生たち キョウドウ体/syn体 ワークショップ成果展

2021.10.1FRI-10SUN/SCARTSモールC

アーティストや研究者、SCARTSと、札幌の中高生が共に創作する「場」をつくるプロジェクト「++A&T(プラプラット)」。その第5弾として今年7月に行われたワークショップの成果展が、SCARTSモールCで行われました。

テーマは「リモート時代の存在感」。アーティストのクワクポリョウタ氏を講師に迎え、4人1組に分かれた参加者は、腕に装着したセンサでロボットアームを遠隔操作し、「キョウドウ(共同/協働)」で四足歩行の「syn体(シintai)」を歩かせることに挑戦。初対面のメンバーが意思疎通を図り、ミッション達成を目指す過程が紹介されました。



## 「つむぐ-フライヤーでふりかえる hitaruとSCARTSの3年間」 アーカイブ展

2021.9.24FRI-12.26SUN/西2丁目地下歩道壁面

「アートと人をつなぐ場所、にぎわいを創出する場所」を目指して、2018年10月に誕生した札幌市民交流プラザ。西2丁目地下歩道では、3年間の歩みを110種類のフライヤーで振り返る展示を公開中です。またオンライントークと題して、動画配信に関する著作権セミナーを実施。プラザ職員がアーカイブについて語る動画も公式YouTubeで配信します。



## マルシェ・ドゥ・グルニエ × プラザ・マルシェ

2021.10.1FRI-3SUN/SCARTSモールA・B

MORIHICO.がプロデュースした「マルシェ・ドゥ・グルニエ × プラザ・マルシェ」が10月1日から3日までの3日間、SCARTSモールA・Bで開かれました。テーマは「秋のおくりもの」。地元作家の雑貨からサンドイッチやフルーツの専門店まで、計18店舗が出店し、来場者はちょっと特別な秋の収穫祭を楽しんでいました。



Tetsuya Kumakawa  
K-BALLET COMPANY  
Cinderella



©Izumi Sakurai

## オーケストラとの一体感と 雄弁な演出で紡ぐ夢の世界

札幌出身の栗山は、公演前のインタビューで「この役は、舞台に出てきた瞬間から王子として完成されていなければならぬ」と語っていた。その言葉通り、端正なルックスの優美な王子として登場。郷里での公演を楽しんでいるようにも見えた。さらに技術を磨き、そのスター性で、次代のKバレエを牽引する存在に育ってほしい。

今回の「シンデレラ」には、これまでに札幌文化芸術劇場 hitaruで上演されてきたチャイコフスキーの三大バレエとは異なる点が数多くあった。

その一つが、音楽監督で指揮者の井田勝大率いる、シアターオーケストラトキーオーの存在。不協和音の多い独創的なプロコフィエフの音楽を、キャストに呼吸を合わせて表現する一体感から、Kバレエカンパニーとともに歩んできた時間の長さが伝わってきた。

さらにはオーケストラの奏者2名が、衣裳を身に着けてヴァイオリニスト役で出演し、舞台上で実際に弾いたことにも驚いた。常に帯同し、互いに信頼関係がある「ワンチーム」でなければ、実現し得ないことだと思う。

出演●  
10月2日[土]  
シンデレラ:日高世菜、王子:高橋裕哉  
10月3日[日]  
シンデレラ:成田紗弥、王子:栗山廉  
他 Kバレエカンパニー  
スタッフ●  
演出・振付:熊川哲也  
音楽:セルゲイ・プロコフィエフ  
衣裳デザイン:ヨランダ・ソナベンド  
舞台美術デザイン:レスリー・トラヴァース  
照明デザイン:足立 恒  
指揮:井田勝大  
管弦楽:シアターオーケストラトキーオー

(フリーライター 矢代真紀)

ヨランダ・ソナベンドが手掛ける衣裳の見事さは言うまでもなく、演劇性の高い「雄弁な演出」も新鮮だった。ダンサーによるマイムや精巧な小道具を効果的に使い、セリフがないのに会話をしているかのよう。なかでも、スモークと照明を大胆に使った、シンデレラが魔法にかかるシーンの演出は、公演のキャッチコピーである「この魔法は、奇跡のように美しい」に違わぬイリュージョンだった。

芸術監督の熊川氏は、1日目の最後に舞台上でマイクを持って満場の観客に挨拶をし、2日目は中央でカーテンコールの輪に加わった。次回はぜひ、ダンサーとして作品の舞台に立つ熊川哲也が観たいと願わずにはいられない。



©Hidemi Seto

若いダンサーたちが挑んだ  
緊張感あふれるオーディション

道内のバレエ団体、教育機関などの協力を得て、札幌文化芸術劇場 hitaru（ヒタル）を舞台とした新たなバレエ作品を創造・発信する「hitaru バレエプロジェクト」。そのプレ公演「白鳥の湖」は、公益社団法人日本バレエ協会北海道支部との共同主催であり、同協会の真下教子氏と小泉のり子氏はオーディションの審査員を、渡辺たかこ氏はバレエミストレス（バレエ指導）を担当。お三方とも、それぞれのバレエスタジオで若いダンサーを育成しています。

——今回のオーディションの様子をお聞かせください。

小泉：審査員には応募者の名前が伏せられ、エントリーナンバーだけでオーディションを実施。前に出て自分を最大限にアピールする子もいれば、後ろの方で緊張のピークに達している子もいる。抱き締めなくなるような、緊張感あふれるオーディションでした。

真下：出演者はマスクをしているため、自分の生徒でさえわからない状態。それで審査員は冷静になり、厳しい審査になりました。舞台の上で生徒たちは緊張するし、審査員も緊張する。終了後は、深夜1時頃までみっちり議論をして……。素晴らしいオーディションだったと思います。

バレエを通じて学んでほしいこと  
プロジェクトで感じてほしいこと

——若手バレエダンサーを育成する思い、また育成で大切にしていることやこだわりは何ですか？

渡辺：私は、基本の大切さを重点的に指導しています。特に今回の「白鳥の湖」のような古典バレエでは、プリンシパル（主役）の周りにコール・ド・バレエ（群舞）がいて、お互いがお互いの気持ちを理解して作品が成り立ちます。そういう思いやりや仲間の大切さを、出演者たちに教えていきたいと思っています。

小泉：子どもたちには「八方美人にならない」といつも言っています。バレエだけではなく、いろいろなものに興味を持って、好奇心旺盛にやりなさいと。バレエ以外の道に行っても恥ずかしくないように、バレエだけでなく人としての根本的なことを教えています。

真下：今回の「白鳥の湖」では、振付・演出



8月31日に行われたオーディションの様子

の篠原聖一先生からさまざまな要求をされると思いますが、出演する若い人たちはその大変さとやりがいを感じ、しっかりと吸収してほしいです。本公演は、道内のバレエスタジオが一つになって行う合同公演。仲間との協調や調和が大事であること、胸に刻んでほしいと思います。

多くの人の力が結集した総合芸術バレエの素晴らしさを広く伝えたい  
——本公演はhitaruとの共催であり、日本バレエ協会北海道支部としては第40回記念公演全道バレエフェスティバルとなります。どのような思いを込めて携わっていますか？

小泉：本番は2公演あり、1日目は北海道勢のダンサー、2日目は東京勢のダンサーが主役を踊りますが、そんな贅沢な舞台はhitaruとの共催だから成し得ること。ダンサーたちはお互いに刺激しあって、素晴らしい舞台をつくってくれるだろうと信頼しています。

真下：今回はバレエ協会以外の方も大勢集まってくれましたが、それは40回で初めてのこと。バレエを愛する人たちの集まりの輪が、また一つ大きくなったように感じます。

渡辺：やっぱり劇場の素晴らしさですね。この前、hitaruのステージを一人で歩いて、ふと客席を見たら外国にいるような気分になって、真ん中でちょっとポーズしちゃったんです（笑）。そうしたら、すごく気持ち良くて、環境に引っぱられて気持ちからバレリーナになっていく。そういう雰囲気はとても大事だと思います。

——hitaruバレエプロジェクトについての思い、北海道のバレエシーンの未来についての展望をお聞かせください。

真下：本プロジェクトは、私たちバレエ協会にとつて大きなエネルギー。バレエは踊ることだけではなく、オーケストラや照明、舞台演出、衣裳、それらが結集した総合芸術です。多くの人がたことくり上げること、本当の意味での総合芸術になる。質の高い舞台づくりを継続することが、北海道のバレエ界全体を高めていくことになると思います。

小泉：子どもも大人も「ちょっとバレエでも見に行こうか」という感じで、シーンズやTシャツのような服装で出かける。そういうステージがあってもいいと思います。バレエって、ちょっと高尚で取っつきにくいイメージを持たれがち。誰にでも親しめる、一つのエンターテインメントとして楽しんでほしいです。

渡辺：北海道は世界的に活躍する素晴らしいバレエダンサーを多く輩出していますが、これからもそういうダンサーが出てきてほしいです。そして、今回のプロジェクトを地方の方々にも知ってほしい。子どもたちが少なくなってきた昨今、プロジェクトを通じてバレエ界を盛り上げていきたいと思えます。

PLAZA  
Spot Light ①

hitaru バレエプロジェクト プレ公演

# 白鳥の湖が 第2回 できるまで

The making of Swan Lake

北海道のバレエ団体、スタッフなどが創造・発信する「hitaru バレエプロジェクト」が始動し、そのプレ公演として2022年2月26日・27日「白鳥の湖」を上演します。今回は本プロジェクトの運営に携わる、公益社団法人日本バレエ協会北海道支部の3人の方々にお話を伺いました。

hitaru バレエプロジェクト プレ公演  
第40回記念公演 全道バレエフェスティバル・イン・サッポロ

## 「白鳥の湖」

2022年2月26日[土]・27日[日] 12月  
札幌文化芸術劇場 hitaru 発売予定

[全席指定・税込]  
S席8,000円、A席7,000円、B席5,000円、C席4,000円、D席2,000円  
※詳細は決まり次第、HP等でお知らせします。

真下教子（写真：中）  
真下教子バレエ研究所主宰  
公益社団法人日本バレエ協会北海道支部支部長

小泉のり子（写真：右）  
小泉のり子バレエスタジオ主宰  
公益社団法人日本バレエ協会北海道支部副支部長

渡辺たかこ（写真：左）  
Takako Classical Ballet 主宰  
公益社団法人日本バレエ協会北海道支部運営委員

ミュージカル「マイ・フェア・レディ」

# My Fair Lady

ミュージカルの名作「マイ・フェア・レディ」が12月17日～20日、札幌文化芸術劇場 hitaru(ヒタル)で上演されます。今回の公演は、2013年に人気演出家・G2が翻訳・訳詞・演出を手掛け、リボーン(再誕生)した新演出バージョン。2018年に続きヒロイン・イライザをWキャストで演じる朝夏まなとと神田沙也加に、公演の見どころや作品に寄せる思いを伺いました。



## Sayaka Kanda

◎神田沙也加 (写真:左)

—2度目となるイライザ役への意気込みは？

「マイ・フェア・レディ」が一番大好きなミュージカルで、大地真央さんがイライザを演じられた舞台を何度も観ていたので、初演時はものすごく緊張しました。今回はもう少し肩の力を抜ければと思います。

—作品の魅力をどうとらえていますか？

全編に漂う普遍的なクラシカルさと、単なるシンデレラストーリーではない、時代を先取りした強いヒロイン像。名曲の数々はもちろんのこと、イライザが花売り娘で着る深緑色のジャケットや貴婦人としてまとう白黒のモノトーンのドレスなど、色彩の見事さも唯一無二です。

—今回はヒギンズ役とのペアが入れ替わりました。

私の相手役となる寺脇康文さんはエネルギーでコメディ要素も強い印象。寺脇版ヒギンズに自分がどう対峙するのか、最初は想像が付きませんでした。

—札幌公演に向けた抱負をお願いします。

「マイ・フェア・レディ」の札幌公演は14年ぶりなので待ち望んでくださった方がいれぼうれいです。私にとっては「赤毛のアン」以来9年ぶりの札幌。hitaruでお会いできるのを楽しみにしています。

## Manato Asaka

◎朝夏まなと (写真:右)

—再演が決まった時のお気持ちはいかがでしたか？

宝塚歌劇団を退団して初めて出演した、女優人生の原点といえる作品なので、またイライザができる！とうれしかったです。初演時は男役から女優として舞台に立つ変化が、花売り娘からレディへと変わるイライザの変貌とリンクしましたが、今回は違います。新しい作品に挑む感覚で、イライザ像と向き合いました。

—好きなナンバーを1曲選ぶならどれでしょう？

どの曲も魅力的ですが、イライザが最初に歌う「だったらいいな」。彼女の粗野な面をお客様にかわいくプレゼンするキャッチーな曲で、振り付けや演出もキュートです。

—札幌という街にはどんな印象をお持ちですか？

札幌へは宝塚時代に全国ツアーで何度か行かせていただきました。海鮮がおいしいですね。

—北海道の観客へメッセージをお願いします。

イライザは、どんな状況であれ一生懸命に生き、出会いと努力によって夢をつかみます。今は未来をポジティブに考えることが難しい時代かもしれませんが、一人の女の子が成長する清々しい姿から、希望や前向きな気持ちを感じてもらえればと思います。

ミュージカル  
「マイ・フェア・レディ」

2021年12月17日[金]-20日[月] 札幌文化芸術劇場 hitaru  
[全席指定・税込] S席14,500円、A席11,000円、B席6,000円

## ピカソが舞台美術を担当

キュビズムの創始者として知られるパブロ・ピカソが、バレエ公演の美術や衣裳、プログラムの表紙絵を手掛けていたことをご存じでしょうか。

時は1917年、フランス・パリの社交界を席巻していたバレエ・リュス(ロシアのバレエ団)を率いるセルゲイ・ディアギレフは、まだ若く貧しかったピカソの才能を見だし、ある公演の美術と衣裳を依頼します。当時、バレエ・リュスの踊りに恋をしていたピカソはリハーサルに通い詰めて衣裳をデザイン。以降も多くの舞台美術を受け持つことになりました。

また、1924年にはパリの画壇で高い評価を得ていた画家の藤田嗣治が、前衛的なカンパニー、バレエ・エドワの公演で舞台美術と衣裳を担当。新進気鋭の画家や音楽家、小説家といった多様なジャンルのアーティストが舞台づくりに参画したことで、バレエの表現力と可能性を押し広げていきました。

## 藤田と「白鳥の湖」

藤田嗣治は終戦翌年の1946年8月、東京の帝国劇場で上演されたクラシックバレエの公演「白鳥の湖」でも、依頼を受けて舞台美術を手掛けました。

帝国劇場の背景部でアルバイトをしていたこともあり、舞台の構造や裏方の作業にも通じていた藤田は、視線を奥深くへ誘導して空間に広がりをもたせるような背景幕の草案をデザイン。戦後の物資不足でイメージ通りにはならなかったものの、作業場を訪ねて、衣裳を縫うために自らミシンを踏んだという逸話も残されているほど、真摯な姿勢で取り組みました。

舞台上で躍動する演者を引き立て、観客を物語世界に引き込むという重要な役割を担う舞台美術。大がかりな装置から装飾類、大道具・小道具、照明、衣裳やメイクまで、あらゆる部門のスタッフが力を合わせて幕開きを目指すところは、どんなジャンルの舞台でも、またいつの時代も共通しているようです。



まちの劇場を、もっと身近に。舞台や劇場の楽しみ方をご提案します。

[VOL.12: 舞台装飾が果たす重要な役割]



illustration : Yumiko Noguchi

アイヌの伝統的技法を取り入れ、自らのアイデンティティを追求

——木彫を始めた経緯をお聞かせください。

昭和40年代頃から北海道観光がブームとなり、二風谷でも30〜40店が軒を並べ、多くの職人が店先で木彫の実演販売を行っていました。父は、そんな職人の一人。私は幼い頃から、父や職人たちが木彫をするのを見て育ち、高校卒業後、跡を継ぐために木彫を始めました。教えてくれたのは環境(地域)。父や先輩の作業を見て、自分でやってみて覚えるだけ。見よう見まねで彫った製品でも、よく売れましたね。

——木彫家としての創作を意識したきっかけは何ですか？

20歳くらいの頃、阿寒湖畔の木彫家・藤戸竹喜さん(2018年没)が祖母の店を訪れました。ハーレーダビッドソンに乗り、レイバンのサングラスをかけて、アメリカンポリスのような風貌で。そのとき藤戸さんからもらった小さな木彫の熊が衝撃でした。土産物の鮭をくわえた熊とはまったく別物で、写実彫刻、まさに生きてるんですね。それを見た瞬間「あーこっぴつ世界もあるんだ」と憧れ、量産ではない木彫に取り組もうと思ったのです。

——それから土産物とは別の創作を始めたのですか？

親は店先で自由に彫らせてくれて、土産物

海外との交流が、次の担い手の羽ばたくきっかけになってほしい

——地下鉄さっぽろ駅構内「ミナパル」に展示されているシマフクロウの像を制作した思いをお聞かせください。

公的な場に作品を置いてもらえる機会をいただき、うれしかったと同時にプレッシャーもありました。シマフクロウ(コタンヨコカウイ)は「村の守り神」という意味。私は以前「アイデンティティ」という作品でファスナーをモチーフとし、アイヌとしての自分を出したり隠したりする現代アイヌのアイデンティティを表現しましたが、あの作品においても台座にファスナーを用い、シンボリックな意味合いを持たせました。木材は、ハルニレの埋もれ木。1年かけて制作した、私が手掛けた中で最も大きな作品です。



伝統と革新が融合する、アイヌアートの表現者

【連載】アーティストボイス

## 木彫家 貝澤 徹

木彫家

平取町二風谷において、アイヌの伝統工芸技術を駆使しながら、現代的な感性で独自のアート作品を創造。大英博物館に常設展示されるなど、海外でも高く評価される木彫家・貝澤徹氏にお話を伺いました。

# TORU KAIZAWA

とは別に作品づくりを始めました。1998年、藤戸さんの個展を観に行ったことをきっかけに、私と弟で芸術の森にて兄弟展を行うこととなり、藤戸さんに案内のしがきを送った初日に観に来てくれたんです。実に感激しました。男が男に惚れるのは、やはり生き方です。藤戸さんのようにになりたいという思いを抱き、それが今に至っています。

——創作する上でこだわり、大切にされていることは何ですか？

アイヌ文化の風習、アイヌの伝統的技法を取り入れていますが、作品づくりの上でアイヌだからという意識は持たないようになっています。今でもアイヌはチセに住んでいるといったイメージを持つ方がいますが、私たちは皆さんと同じように普通に生活している。一人の木彫家として、自らの感性やアイデンティティを大切に創作しています。



——大英博物館に常設展示されるなど、海外で高く評価されていますが、それらの反響をどう思われますか？

大英博物館からの依頼は、伝統を受け継ぐ現代のアート作品。卵から孵化するシマフクロウを表し、アイヌ文化に携わる子の新たな誕生を表現しました。人との出会いで素晴らしい依頼をいただき、アイヌの作品が世界中の人の目に触れ、高く評価される。次の担い手が同じように羽ばたくきっかけになってほしいと思います。

——貝澤さんにとって二風谷とは？ここで創作を続ける理由をお聞かせください。

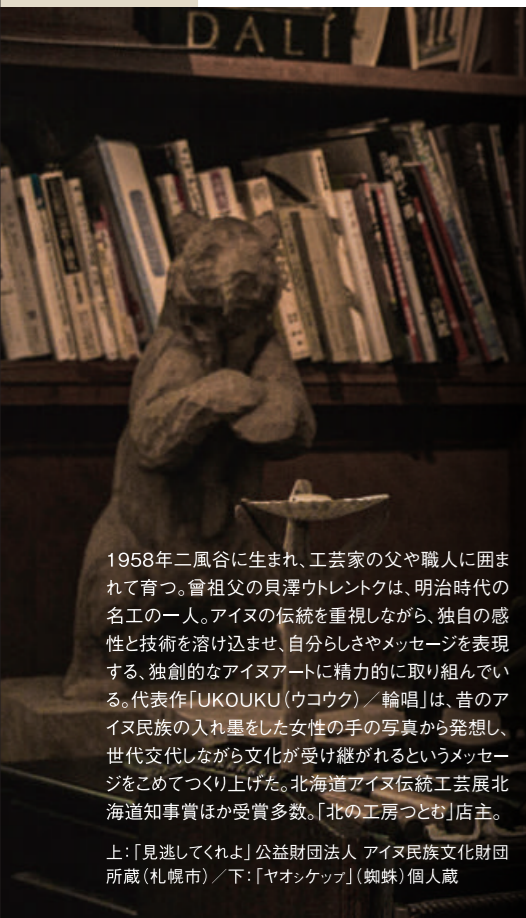
二風谷は、私にとって原点の地。北海道には、白老や阿寒などアイヌ文化が息づいている地域がありますが、なかでも二風谷は独特な風土がある地域で、現代の生活環境に100年前の伝統が溶け込んでいる。ここから発信するのは大きな意味があると思っています。

——今後の創作についての展望と、アイヌ文化についてメッセージをお願いします。

先のごことはあまり考えていませんが、年に一度くらいは新たなアート作品を制作したいですね。機会があれば、ウポポイなどさまざまなアイヌの文化的施設を観ていただきたいと思っています。踊りでも、木彫でも、興味があるものから入って、そこからアイヌ文化を広く知ってほしい。ぜひ一度、二風谷に足を運んでください。

1958年二風谷に生まれ、工芸家の父や職人に囲まれて育つ。曾祖父の貝澤ウトレントクは、明治時代の名工の一人。アイヌの伝統を重視しながら、独自の感性と技術を溶け込ませ、自分らしさやメッセージを表現する。独創的なアイヌアートに精力的に取り組んでいる。代表作「UKOUKU(ウコウク)／輪唱」は、昔のアイヌ民族の入れ墨をした女性の手の写真から発想し、世代交代しながら文化が受け継がれるというメッセージをこめてつくり上げた。北海道アイヌ伝統工芸展北海道知事賞ほか受賞多数。「北の工房つとむ」店主。

上:「見逃してくれよ」公益財団法人 アイヌ民族文化財団所蔵(札幌市)／下:「ヤオンケツ」(蜘蛛)個人蔵





hitaruのひらりき

VR能

# 攻殻機動隊

VR No.1 THE GHOST IN THE SHELL

日本の伝統芸能である能と最新のテクノロジーとの融合が生み出す新感覚の舞台「VR能 攻殻機動隊」が、札幌文化芸術劇場 hitaru(ヒタル)に登場します。VRを駆使した革新的な表現に挑む観世流能楽師の坂口貴信と演出の奥秀太郎の両氏に、舞台づくりのアプローチや見どころについて伺いました。



## 現代日本の才能が集結！ 人気原作の舞台化を実現

VRゴーグルをかけることなく、仮想現実空間を体感できる新作能舞台「VR能 攻殻機動隊」。世界最古の歌謡劇と言われる能と、現代日本が誇る映像やバーチャルリアリティー技術の才能が集結して実現した、話題の公演が札幌に初上陸します。原作は、士郎正宗によるSFアクション漫画「攻殻機動隊」。単行本の初版は今から30年前の1991年で、以来、TVアニメシリーズや劇場版アニメ、ハリウッドでの実写映画化など、さまざまなメディアに展開しつつける世界的な人気作です。

現実世界と電脳世界を股に掛けて犯罪に立ち向かう「攻殻機動隊」の物語は、現実世界と死者の世界を行き来する「夢幻能」という能の構造と似ています。目の前の人物は果たして実体なのか、そもそもどこからどこまでが現実なのか。日本におけるVR研究の第一人者である東京大学の稲見昌彦教授と、日本初となる舞台での3D映像の開発を手掛けた明治大学の福地健太郎教授が、現代版にアップデートされた革新的な能表現を実現しました。

また、今作のスヘシャルナビゲーターを声優の下野紘が務めています。

## 演出 ● 奥秀太郎

能とVRという異なる古今の表現手法を舞台上でどう融合させますか？

能は世界最古の演劇とも言われる日本を代表する伝統芸能、歌舞劇です。具体的な表現を削ぎ落とし、多くを観客の想像力に委ねるスタイルこそが、最大の魅力だと考えています。一方、VRは仮想現実空間の略称ですが、能の舞台表現と通じるところがあると思います。最先端の技術であるVRの根本的な概念の部分を応用したのが今回の「VR能 攻殻機動隊」です。

演出面での工夫や挑戦、難しかった点などをお聞かせください。

能本来の形を壊すことなく『攻殻機動隊』の世界をどう表現するかが大きな課題でした。観世流の能楽師の皆様からの要望やご意見を参考に、伝統的な手法を駆使しながらも、今までの伝統芸能の枠を大きく超える、さまざまな表現にチャレンジしたつもりです。

世界的にもファンが多い原作の魅力と、舞台化で目指したものについてお聞かせください。

能でこの作品を演出させていただくと長年の念願でした。『攻殻機動隊』は、能とも非常に親和性のある作品で、漫画、アニメのいずれの作品中でも、能楽の要素

が取り上げられています。舞台化するにあたり、今回のVR能こそが、最もその世界観を再現していると言っても過言ではないと思います。光学迷彩を現実にした稲見昌彦東大教授によるGHOSTGRAMも見どころの一つです。

札幌公演に向けてメッセージを。

この作品は、まだまだアップデートを繰り返していますし、札幌公演ならではの仕掛け、バージョンアップも考えています。舞台空間の進化を体験して欲しいですね。

## 観世流能楽師 ● 坂口貴信

伝統芸能と最新技術を融合する意欲的な舞台ですが、能楽師としてのどのようなアプローチで臨みましたか？

以前の3D能は、能舞台の空白を映像や音響で埋め、説明的な要素を足していく手法を採用していましたが、今回のVR能では「足す」のではなく「引き算」の表現、つまり映像技術を能本来の表現方法に近づけていくアプローチを取りました。

原作漫画の『攻殻機動隊』の印象についてお聞かせください。

初めて漫画の題材に取り組みましたが、現代の新作能として最適な作品だと思えます。初めて能に触れる方や、原作漫画や

アニメのファンの方々に、どこまでご満足いただけたか未知数ですが、試行錯誤して完成させたいと思います。

札幌公演に向けての抱負を。

世界中にファンを持つ『攻殻機動隊』という作品と日本の伝統芸能である能楽が、日本の最先端テクノロジーによって融合する初の試みとなります。今回、初めて能楽に触れる方には「古来：本来の能も難しくないんだな」と感じていただき、能の技術や表現方法、衣裳や能面の魅力に興味を持たれた方が、能楽堂に足を運んでくださるようになればと願っています。

## 奥 秀太郎

映画監督・映像作家。劇場公開作品として「埴首」「カインの末裔」(ベルリン映画祭正式出品)など15作品以上を監督。舞台の映像演出も数多く手掛け、東宝のミュージカル作品やNODA・MAP、宝塚歌劇団、大人計画、能、歌舞伎、落語とその活躍は多岐にわたる。最近ではVR、3D映像など最新技術を駆使した能舞台の演出で日本及び世界各地で話題に。



## 坂口貴信

能楽シテ方観世流能楽師。「三人の会」「MUGEN∞能」「松諷会」主宰。重要無形文化財総合指定保持者。二十六世 観世宗家 観世清和に師事。2017年、奥秀太郎からのラブコールを受け「3D能」プロジェクトを開始。伝統芸能を未来へと受け継ぐための新たな表現と、世界進出への道の両方を模索し続けている。東京芸術大学非常勤講師。国立劇場養成科講師。(一社)観世会理事。



## hitaruのひとつきシリーズ VR能 攻殻機動隊

2022年1月15日[土] 札幌文化芸術劇場 hitaru  
午前の部 ● 10:00 開場 / 11:00 開演 午後の部 ● 15:00 開場 / 16:00 開演

[全席指定・税込] S席3,000円、A席2,000円、U25(各席)1,500円  
※詳細は決まり次第、HP等でお知らせします。



## 多様なコラボで表現の可能性を拡張。 化学反応が楽しめる二つの展覧会。

札幌文化芸術交流センターSCARTS(スカーツ)では、さまざまな個人・団体と共同で札幌の文  
 化芸術の振興を図ることなどを目的に、事業企画の一般公募を実施しています。  
 ここでは、令和3年度の公募企画事業で選出された2人のアーティストに、これまでの創作の  
 歩みや展覧会の展望などについて伺いました。

紙とワックスを素材に作るヒト  
 型オブジェの集合体を空間に配置  
 するインスタレーションで知られ  
 る美術家の艾沢詳子氏が、公立千  
 歳科学技術大学の青木広宙准教  
 授とのコラボレーションでつむぎ  
 出す、インタラクティブなアート  
 の展覧会「PLATFORM」。



「艾沢詳子×千歳科学技術大学ライトアート工房  
 Paper Trail—イメージの“回廊”へ」2018年、苫小牧市美術博物館

「1970年代から独自のスタイル  
 で創作活動を積み重ねてきた艾  
 沢氏が、最新のデバイスで読み取っ  
 た鑑賞者の生体情報に呼応して  
 作品が変化していくというユニー  
 クな表現にチャレンジします。  
 「創作は生きることそのもの」と  
 話す艾沢氏は、銅版画をルーツに、  
 コラグラフ版画、石こうを床に流  
 すドローイングなどを経て、ロウ  
 を使った造形へと作風を深化させ

てきました。  
 「ここまで続けることができた  
 のは、自身の成長と共に作品も変  
 化を遂げる中で、常に思いがけな  
 い発見や場との出会いに突き動  
 かされてきたからでしょうか」  
 2018年と2020年には苫小  
 牧市美術博物館で、画像工芸学や  
 三次元計測の研究である青木  
 氏とのコラボによる展示を実施。  
 その発展型となる今回は、人や物  
 の形を三次元的に計測できるデ  
 ブスカメラを用いて、呼吸や歩行  
 を非接触で測る技術を応用。来場  
 者から読み取った生体情報や位  
 置情報と連動して、ライティング  
 を変化させていきます。実際の会  
 場を使ったりハーサルも敢行し、  
 艾沢氏のオブジェが描く物語に新  
 たな生命を吹き込みます。  
 「人の誕生から成長、社会、そし  
 て死が全体のテーマです。駅のプ  
 ラットフォームを発想の起点に社  
 会的な基盤や文化・芸術分野まで  
 イメージを広げてアプローチして  
 います。皆さんの呼吸や存在も作  
 品を構成する要素になりますの  
 で、ご自身の人生を重ねながらご  
 覧いただければと願っています」

PLUS ONEは、イラストレー  
 ターとフォトグラファー、ヘアメ  
 イクアップアーティストが、絵と  
 写真を融合させたポップな世界  
 観の作品を共同で作りに上げるク  
 リエティブユニット。来年3月に  
 開かれる展覧会「ONETWO〜ひとり  
 の女性〜」に向けて、プロジェクト  
 をリードするイラストレーター  
 真吏奈氏にお話を伺いました。  
 「テーマは『ひとりの女性の生  
 き方』。学生から子育て中のお母  
 さん、さまざまな業種で働く人々  
 まで、札幌で活躍する女性たちが  
 主役です。不安や葛藤を抱えなが  
 らも日々をたくましく生きている  
 彼女たちの美しさ、繊細さや愛嬌  
 といった独特の感情の変化を、作  
 品に込めて表現していきます」

同様のコンセプトで好評を博し  
 た2015年の展覧会「僕のマドン  
 ナ展」以降も、コラボレーションに  
 よる創作活動を続けてきたとい  
 うユニット。今回の展覧会には、  
 フォトグラファーとして松岡和  
 洋、前田諒、辻野里英、ヘアメイク  
 には丸家美怜、三和子、館田奏の  
 各氏が参加しています。  
 「一人で絵を描いていると、ど  
 うしても自分だけの狭い世界観  
 にとらわれてしまいがちです。そ  
 の点、異分野のアーティストとの  
 コラボレーションは、学ぶことが多  
 く、視野も広がるので刺激的。思  
 わぬ表現が生まれる撮影現場の  
 ライブ感を大切にしながら、制作  
 に取り組んでいるところです」  
 互いの感性をすり合わせるこ  
 とで化学反応を引き起こし、一つ  
 の作品をつくり上げていく手法  
 は、表現の領域を拡張させる無限  
 の可能性を秘めています。  
 「絵を描く仕事も人間関係が大  
 切。見ていただく誰かがいないと  
 成り立ちません。特に若い方たち  
 には、この展覧会を通じて、アー  
 トの魅力をより身近に感じても  
 らえれば、うれしいですね」



絵と写真のコラボから生まれる  
 札幌の女性が主役のポスター

### 令和3年度SCARTS公募企画事業 艾沢詳子 + 青木広宙 PLATFORM

©2022年1月8日「土」-23日「日」 ©SCARTS「ア



艾沢詳子(よもぎざわしよこ)  
 1949年生まれ。由仁町出身、札幌在住  
 の美術家。2014年北海道文化奨励賞  
 受賞。1970年代から銅版画に取り組み、  
 1995年にはACCスカラシップでニュー  
 ヨークへ留学。帰国後はコラグラフ版画  
 やワックスで固めた無数の個体を配置  
 するインスタレーションなどを発表。数々  
 の展覧会で高い評価を得ている。

真吏奈(まりな)  
 1986年生まれ。札幌市在住のアーティ  
 スト/イラストレーター。主にアクリル絵の具  
 を使って、女性や動植物を幻想的な世  
 界観で描く作風が特徴。韓国・釜山  
 「BAMA2020」や米国・NY「Art expo New  
 York2021」ほか、海外のアートフェスにも  
 積極的に出展。ポスターなどの商業デ  
 ザインも多数手掛けている。

### 令和3年度SCARTS公募企画事業 PLUS ONE ONE〜ひとりの女性〜

©2022年3月9日「水」-16日「水」 ©SCARTS「ア







お話を伺った札幌市図書・情報館の司書、船木沙織さん

Job of librarian  
**司書のお仕事**  
 図書・情報館の

司書とは、図書の収集や整理、調査相談など図書館の専門的業務を担う職員です。  
 一般的には、本の貸し出し業務を主に行っているイメージが強いかも知れませんが、その仕事内容は多岐にわたります。  
 では、ビジネスパーソン向けの調査相談・情報提供に特化した札幌市図書・情報館の司書のお仕事とは――。  
 司書のお仕事を紹介するシリーズ企画、第7弾のテーマは「課題解決型図書館の活用法」です。

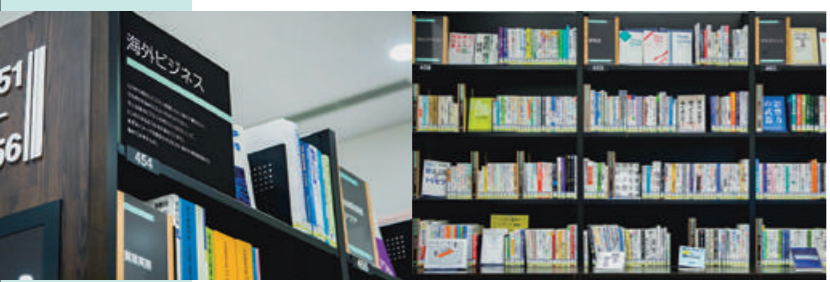
プレゼンの裏付けとなる統計データをそろえたい。出店を検討しているエリアの商圈情報を調べたい。資格や経営、ビジネススキル、マーケティングの基礎知識や最新動向を学んで、日々の実務に生かしたい。

そんな仕事の現場のニーズに応えるべく、「課題解決型図書館」をコンセプトに運営されているのが、札幌市図書・情報館です。

必要な情報に素早く的確にアクセスするために、リサーチのプロとも言える司書に相談するのが、何よりの近道。そこで今回は、実際に寄せられた相談事例を踏まえて、司書の船木沙織さんに実践的な活用法について伺いました。

「はたらくをらくにする」  
**実用的な統計データが充実**

知りたいことがあれば、まずはネットで検索する時代。しかし、膨大な情報の海から信頼できる情報源にたどり着くのは、なかなか難しいものです。特にテーマが広すぎたり、逆に専門的すぎる場合は、検索の切り口を見つけないことすら困難で、途方に暮れてしまうかもしれません。



「WORK」エリアでは、担当者が厳選したビジネス書をテーマ別にそろえている

そんな時は、2階フロアの中央にあるリサーチカウンターで司書に声をかけてみてください。

「私たちが最も大切にしているのは、レファレンスインタビュアーです。相談者と対話しながら、何が知りたいのかを明確にしていきます。必要に応じて調査するキーワードを変えたり、時には仲間の司書に助けを求めたりしながら、該当する情報が載った資料と結び

付けていきます」

例えば「道の駅の市場規模を知りたい」という相談に対しては、具体的に道の駅の「どのような」データを求めているのかを深掘りするインタビュアーからスタートします。

道の駅には、多くの人やモノが往来します。旅行者や働く人、車種、自動販売機、売店や食堂、トイレ、ガソリンスタンドといった構成要素や属性などを踏まえつつ、相談者が知りたいことの核心に迫ります。

「相談者にとって本当に有益な情報をご案内できるように、インタビュアーを通して調査する手掛かり(キーワード)を増やしていきます。私たちは調査のきっかけと選択肢を提供するようになっています」

この時は日本のほぼ全産業・全業種を網羅した『業種別審査事典』を活用。当館では幅広い分野の統計や市場調査の専門書を率先してそろえています。こうした書籍があること自体、多くの方はご存じないかもしれませんが、さまざまな業界の新聞や専門誌データベースと組み合わせることによって、より多角的な信頼のおける情報収集が可能になります」。



**仕事や暮らしに役立つ  
 本との出会いをお手伝い**

2階は「WORK」「LIFE」「ART」の3エリアで構成されていますが、ビジネスの相談には「WORK」の出番とは限らず、使える資料は総動員。人間関係や健康といった「LIFE」のテーマについても利用者の関心は高く、書籍のラインアップも充実しています。

「平日は夜9時まで開館していますので、仕事帰りにお立ち寄りいただけます。相談内容がまとまらない場合でも、まずは気軽にリサーチカウンターでお尋ねください。仕事や暮らしに役立つ本との出会いを、私たちが全力でお手伝いします」

歴史と芸術が響き合う

小樽芸術村  
OTARU ART BASE

〒047-0031 小樽市色内1丁目3-1 [似鳥美術館] <https://www.nitorihd.co.jp/otaru-art-base/>

le trois

キレイ、ステキ、オイシイ。

le trois  
ル・トロワ

地下直結

大通西1丁目  
(大通駅24番出口直結)

営業時間 10:00~21:00  
(レストランは11:00~23:00)  
※店舗により異なる場合があります。

創造都市さっぽろ WAON

「創造都市さっぽろWAON」は、札幌市の文化芸術振興を応援します。

- ご利用金額の一部を札幌市に寄付させていただき、札幌市の文化芸術振興に活用されます。
- 本カードデザインは、札幌市立大学の学生が制作したイラストを採用しました。

AEON イオン北海道株式会社

| DAFNE | story |



エゾシカ肉などの北海道の秋の味覚を包んで焼き、すべての旨みを凝縮。ソースだけでなく、付け合わせの網目状のチヌイルにもシケレベを使った「北海道秋鹿肉とシケレベのパイ包み焼き」。

北海道の秋の味わいを、美味しくパイでひと包み

北海道全域に生息するエゾシカ。シカ肉はヨーロッパでジビエとして親しまれており、北海道でもエゾシカ肉は先住民族のアイヌの人たちにとって貴重な食材でした。秋はそのシカが最も美味しくなる季節です。冬に備えて果実や草木をたっぷり食べているシカの肉は、旨みが凝縮されていて肉質も柔らかく、臭みではなく、美しい香りが強くなっています。

シカ肉はハンターの技術や処理で味が大きく変わります。DAFNEが扱うシカ肉は、占冠町の黒井宏論さんが狩って熟成させたもの。これまで何度もシカを扱ってきた私が人生で一番美味しいと感動したシカ肉です。そのシカ肉を使って目指したのは、北海道とアイヌ文化とフランス料理が融合した一皿。シカ肉を真狩産のノーザンブルーなどの秋の食材と一緒にパイ生地で包み、フランスの伝統料理トゥルトに仕上げました。ソースには肉の香りを引き立てるため、アイヌ料理の代表的な香辛料で山椒のような香りを持つシケレベを使っています。シカとシケレベという二つの森の恵みが口の中で重なり合う楽しさもぜひ感じてください。シカ肉が得意じゃないと感じている人ほど、食べてみてほしいです。

(佐々木隆宏 シェフ)

ダフネの  
春夏秋冬

●秋の食材

エゾシカ

チラシクーポンがスマートフォンに届く！  
丸井今井 札幌三越 **LINE**

ご登録は  
コチラ



maruimai MITSUKOSHI

血液の大切さ、  
知っていますか？

勇気会 医療法人  
**北央病院**

札幌市厚別区青葉町11丁目2-10 (南郷通沿い)  
TEL.011-892-8531 (代)

生活協同組合コープさっぽろ [CO・OP 共済ニュース]

組合員の皆様の暮らしに必要な保障を支える

組合員の声から生まれた  
**CO・OP 共済**

家族一人ひとりにあったコースを  
お選びいただけます

だすけあい あいふくす  
プラチナ85 ぐとあい

資料請求はお気軽に! ☎ **0120-25-9431** □ <http://coopkyosai.coop>  
コープさっぽろ各店舗またはトック配達担当者までお問い合わせください

Hokusei Gakuen University  
**北星学園大学**  
北星学園大学短期大学部




**Coca-Cola**

～北の大地とともに～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
HOKKAIDO COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. <コカ・コーラ指定会社>

TANAKA MEDICAL GROUP

大きな輪であなたを支えます

笑顔絶やさず。優しさ忘れず。  
タナカメディカルグループ

病院

- 札幌田中病院 334床
- 札幌緑誠病院 342床
- 札幌宮の沢病院 355床

介護

- 介護療養型老人保健施設 博友会 127床
- 特別養護老人ホーム 愛輪園 90床
- 介護老人保健施設 愛の里 100床
- ケアハウス ホワイトキャッスル 100床

住まい サービス付き高齢者向け住宅

- ライフコート宮の沢 83戸
- ライフコート西野 82戸
- ライフコート手稲 81戸
- ライフコート手稲西 78戸
- ライフコートガーデン南館 81戸
- ライフコートガーデン東館 80戸
- ライフコート西宮の沢 80戸
- ライフコートステラ 51戸

タナカメディカルグループ  
[www.tanakamedical.net](http://www.tanakamedical.net)

★ 音楽、スポーツ、舞台などの  
チケット購入はネットでラクラク♪

**道新プレイガイド**  
オンラインストア

道新プレイガイド 検索

<https://doshin-playguide.jp>

無料メルマガ会員募集中!

ご購入  
お問い合わせ **道新プレイガイド** TEL.0570-00-3871

【営業時間】  
10:00~17:00  
(日曜定休)

Hotel Monterey Group

ホテルモントレで  
異国情緒を味わう

まるで異国に訪れたようなヨーロッパ  
テイストの館内で優雅なひとときを  
お過ごしください。



強く輝く山へ

**ban.K**

さっぽろばんけいスキー場

2021-2022 SAPPORO BANKEI SKI AREA

〒064-0945 札幌市中央区盤渓 410 番地  
TEL.011-641-0071  
[www.bankei.co.jp](http://www.bankei.co.jp)  
TAIYO GROUP

都心から20分!  
ファミリーも楽しめる!  
22:00までナイター営業!

ファミリーキッズ  
**わくわく  
スノーランド**

お子様に人気の「わくわくスノーランド」は  
そり滑りやスノースライダーが楽しめます。

冠婚葬祭  
**あいプラン** つみたててる?

**会員募集中!**

(お問い合わせ・お申し込みは)  
●お客様相談センター  
☎0120-335-924



「伸びる」  
「できる」  
にはワケがある。

RENSEIKAI GROUP

個別指導 **3.14** 可能性は無限



「目とメガネの専門家」としてお客様の視る力を最大限に引き出します。

**困ったとき、富士メガネ**

- メガネの修理承ります  
他社でおつくりになったメガネも修理します。
- 補聴器のご相談承ります  
正確な測定に基づく適切な機器の選定と調整が必要です。

高品質メガネセット 11,000(税別)円より

視力ケアのスペシャリスト  
**富士メガネ**  
北海道・東北・関東 / 65 店舗




迎  
旬  
フレンチで旬を堪能

**DAFNE**  
RESTAURANT by MORIICO.



hitaru official sponsors

hitaru official sponsors



The Power of Nature  
**AminoUP**  
株式会社 アミノアップ

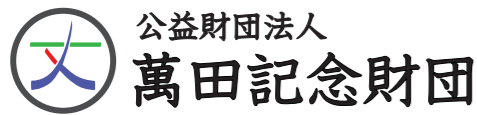
**伊藤組土建株式会社**  
代表取締役社長 玉木 勝美  
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 TEL 011(241)8477



誠実の一路を開拓者精神で貫く  
 **岩倉建設株式会社**



**丸彦渡辺建設株式会社**  
代表取締役社長 岡本 啓治  
札幌市豊平区豊平6条6丁目5番8号 TEL(011)811-8121



**札幌市交通局**  
<http://www.city.sapporo.jp/st/>  
hitaruにお越しの際は便利な地下鉄をご利用ください。



INFORMATION

札幌市民交流プラザの新型コロナウイルス感染症に関する取り組みと  
ご入館に当たってのお願い

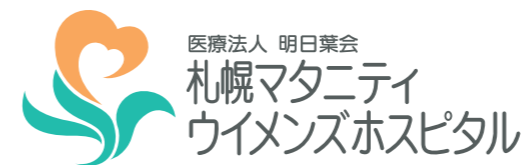
札幌市民交流プラザでは、来館者や利用者、職員等の安全、安心のため、  
以下の取り組みを行っておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

◎当館の取り組み

- ・定期的な館内清掃、換気対応、消毒対応を実施いたします
- ・貸室の鍵及び貸出備品の利用の都度、消毒対応を実施いたします
- ・受付、窓口等では、ビニール、アクリル等の仕切りを設置しております
- ・職員は、検温、手洗い、アルコール消毒を徹底しております

◎ご入館に当たってのお願い

- ・発熱や咳き込み等の症状がある場合は、入館をご遠慮願います
- ・館内では、マスクの着用をお願いいたします
- ・手洗い、手指のアルコール消毒をお願いいたします
- ・周囲の方との距離をとってください(2m程度)
- ・ゴミについては、お持ち帰りをお願いいたします



hitaru official sponsors